



令和7年9月1日
島根県芸術文化センター「グラントワ」
島根県立いわみ芸術劇場
文化事業課 担当：福間・新田
総務広報課 担当：上野・野村
電話：0856-31-1860 Fax：0856-31-1884

石見神楽の新たな舞台を創造！
グラントワ開館 20 周年記念 しまね伝統芸能祭 2025 クロージング公演
魂神楽 ^{みたまかくら}モモチヨロスヨ ^{コノハナサクヤ} - 木花之佐久夜と ^{タケミナカタ}建御名方-
【出演】石見神楽「万雷」^{ばんらい}ほか 【特別出演】小林幸子

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、開館 20 周年を迎える島根県芸術文化センター「グラントワ」のハイライトとなる事業として、島根県石見地域が誇る伝統芸能「石見神楽」の新たな舞台を制作・上演します。

この度の公演では「石見神楽」の担い手としてこれまで主に県外で魅力を広く発信してきた石見神楽の若き舞手チーム「万雷」が凱旋。抜群の歌唱力と華やかなステージが魅力の小林幸子、元 NGT48 本間日陽が出演、世界的音楽イベントを手がけるクリエイティブ集団「MPLUSPLUS」が LED 照明テクニカル協力し、舞台を彩ります。

作・演出を手掛けるのは、歌舞伎脚本・演出の第一線で活躍し、近年は石見神楽とのコラボレーション舞台に精力的に取り組む戸部和久。石見神楽『国受け』から始まる、タケミナカタのその後を描いた物語で、『紅葉狩』『大蛇』の名場面も随所に散りばめながら、小林幸子演じるサクラガミ（コノハナサクヤ）とタケミナカタを軸に物語が繰り広げられます。

石見神楽の溢れる醍醐味と小林幸子の代表曲が織りなす神話が新たな石見神楽を創造します。視覚と聴覚を刺激する伝統芸能と現代表演が融合する舞台を地元島根県で開催し、石見神楽の新たな可能性を国内外へ発信します。

ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願いいたします。

以上

記

日時：2025 年 11 月 23 日（日）開場 13:15／開演 14:00

会場：島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール

出演：石見神楽「万雷」／本間日陽／Ryo (Beat Buddy Boi) 他

特別出演：小林幸子

LED 照明テクニカル協力：MPLUSPLUS

脚本・演出：戸部和久

料金：（全席指定・税込）【前売】一般 6,500 円、U25 4,500 円

【当日】一般 7,000 円、U25 5,000 円

チケット発売日：9 月 12 日（金）

主催：島根県、公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場／島根県民会館）、株式会社山陰中央新報社

共催：芸術文化とふれあう協議会

協力：松竹株式会社、一般社団法人 MASUDA カグラボ

※その他詳細は追ってグラントワ HP 等で情報公開いたします。



主演

石見神楽『万雷』

石見神楽「万雷」は、一般社団法人 MASUDA カグラボがプロデュースする若き精鋭集団です。2022年3月、京都・先斗町歌舞練場にて初の県外独自公演「魂神楽」を成功裡に収めて以降、株式会社井筒企画との共作「八雲立つ」では尾上菊之丞氏らと共演し、さらに松竹株式会社による「Zipangu」シリーズにも出演いたしました。なかでも『Zipangu The Party』では小林幸子氏らと舞台を共にし、研鑽を重ねてまいりました。益田の地に根差す石見神楽の精神を受け継ぎながら、世界へと羽ばたく新たな舞台芸術の創造を志す団体です。



特別出演

小林幸子（こばやし さちこ）



1953年12月5日生まれ。新潟県出身。1964年10歳でデビュー。79年「おもいで酒」が200万枚突破の大ヒットとなり、日本レコード大賞最優秀歌唱賞をはじめ数々の音楽賞に輝く。同年NHK「紅白歌合戦」に初出場、以降34回出場。近年ではニコニコ動画やYouTubeチャンネルの反響も大きく、若い世代やネットユーザーからも人気。新潟県民栄誉賞。新潟市観光大使。甲州市観光大使。2024年芸能生活60周年を迎えた。

取材会の開催について

9月23日（火・祝）にグラントワで取材会を予定しております。脚本・演出家の戸部和久氏、石見神楽「万雷」代表・神田惟佑氏を迎え、本公演の見どころや意気込みをお話いたします。取材会の詳細については、後日あらためてご連絡を差し上げます。ぜひご取材・報道方お願い申し上げます。